

船 場 未 来 ビ ジ ョ ン

オープンマインドコア “船場”

船 場 ま ち づ く り 検 討 会

令和5年3月



オープンマインドコア “船場”

1

地域ぐるみの総合的サポート

多様なヒト・リソースを国内外から引き寄せる求心力

船場の新しい価値を創造

引き寄せられた人と人が出逢い、
アイデアを交換・発展・成長し合う
イノベーションのまちへと発展することで、
風格ある国際的な中枢都市機能集積地としての、
豊かな生活・パブリックライフを楽しむことのできる
「船場」を目指します。

国内外を問わず多様な人材、企業、知が集積する
「オープンマインドコア “船場”」

まちのコモンスペース[共有空間]として開く
高麗橋ストリートパーク2020



1. 船場地区特性の背景

他のエリアにはないポテンシャルを有している船場

2

都市機能

船場には
人や事業を育成する
土壌がある

- 近代の船場はアジア最大の大都市「大大阪」の中心地であり、商業、金融、流通、消費、文化、流行の中心として発展しました。
- 南北両御堂の門前には多くの門徒や商人らが集まり、「御堂さんの屋根が見える、鐘の音が聞こえる場所にのれんを張る」ことが、船場商人の憧れであり、誇りでした。
- 問屋・本社機能や多様な文化が集積し、そして、船場の街全体がイノベティブなスタートアップの場として機能していました。

ヒト・モノ・コトの流れ

船場には
経済や文化を継ぐ心意気が
備わっている

- 舟運が盛んであった時代、河川に囲まれた船場は、
- 物流の中心地として発展し、あらゆるヒト・モノ・コトが船場に集まってきました。
- インターネットの進展により物から情報へ移り変わりましたが、IoT社会の到来により、物だけではなく、人や組織がつながることで新しい価値を生み出そうという共創(コ・クリエーション)の動きを目指そうとしてきています。
- 社会、まちは変化をしますが、船場には経済や文化を継ぐ方々の心意気が備わっています。

コア～大阪の中心

船場は
東西・南北軸のクロスポイント
・コアに位置する

- 大阪の東西・南北軸のクロスポイント・コアに位置しています。
- かつて職住遊が複合していた船場は、産業、人口の流出により一時はまちが空洞化しましたが、夜間人口や交流人口の急増により、職住遊が複合した新たな“都心船場”に変化を遂げています。
- 地区の大半が特定都市再生緊急整備地域に指定されています。(国全体の成長を牽引する都市・大阪の中核として、より一層強力な国際競争力を有する地域を目指します)

「職住遊が複合する“都心船場”」は、

「大阪ビジネスの中心地」とした都市・世界目線を持ちながら、

まちの人の顔が見える、人のつながりが見える

過去も現在も、自身の能力を生かして創造的に挑戦することができる

他のエリアにはないポテンシャルを有しています。



大阪の東西・南北軸のクロスポイント・コアに位置する船場

2. めざすべき都心像

CBD 中心業務地区から CCD 都心共創地区へ

3

中心業務地区 Central Business District, CBD / 都心共創地区 Central Co-creative District, CCD

都心共創地区 “船場”

その地域を活性化するのは、従来求められていた仕事やオフィスの集積ではなく、オープンエア空間やストリートレベルでの交流が新たな価値を生み出すというめざすべき都心像。

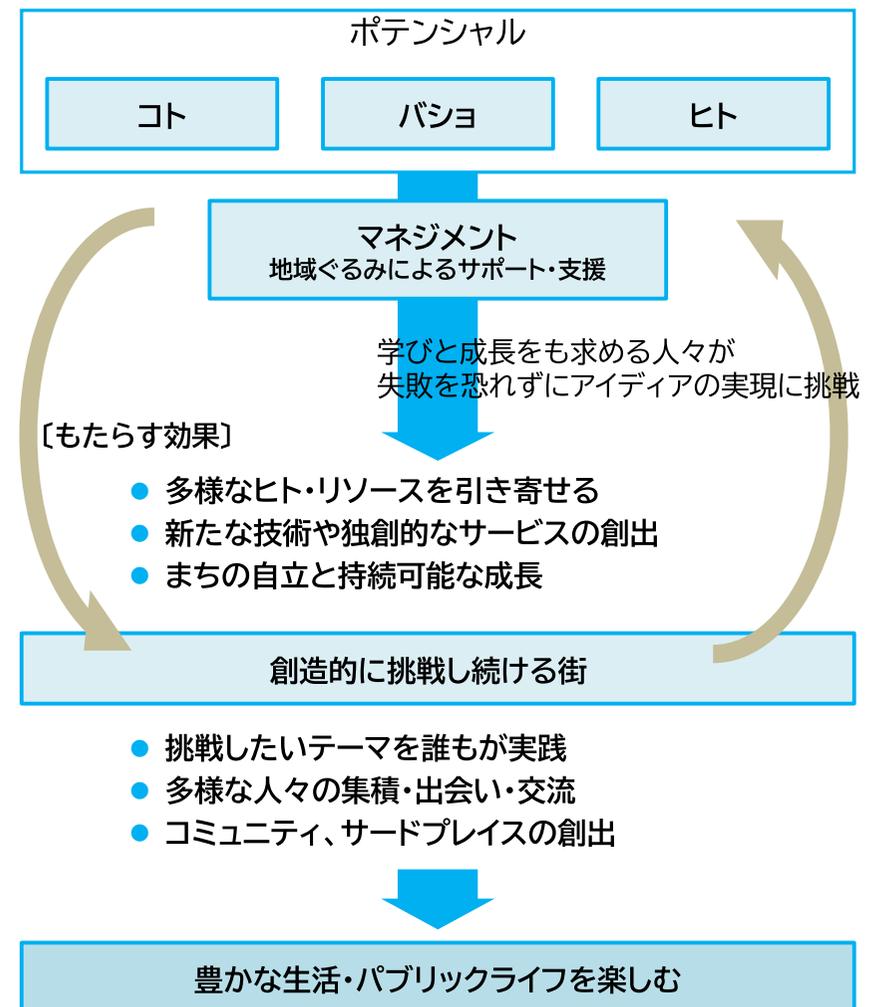
- 船場地区は、歴史的にも職住遊が複合するが複合した活力のある都心部を形成してきました。現在も、オフィスや店舗が集積していること、大阪の東西・南北軸のクロスポイントであることから、大阪を代表する中心業務地区として、御堂筋とともに大阪の経済をけん引しています。



- 一方、全世界が新型コロナウイルスのパンデミックに見舞われ、経済活動の場である都市や地域のあり方、人々の暮らし方や働き方に大きく影響を及ぼしました。密にならないオープンスペースに対する重要性や意識の向上、移動手段としての自転車利用者の増加、テレワークの進展、仮想空間へのシフトなどがあげられます。
- こうした行動の変容やほかにもテクノロジーの進歩や脱炭素社会の実現に向けた取組みの進展を受けて、世界では従来の中心業務地区の見方が変わりつつあります。

船場のポテンシャルを活かして

- ・街を計画的にイノベーションが起こりやすくする
- ・多様なヒト・リソースを引きよせる・活用する



3. オープンマインド戦略

都心像「都心共創地区」をめざして
イノベーションが起こりやすい状況にするための戦略

「コト」「ヒト」「バシヨ」の3つの取組みを柱として、船場の魅力を創出、活用、連動させることで、エリア住民をはじめ、事業者やプレイヤーなどの多様なヒト、そしてリソースを引き寄せます。

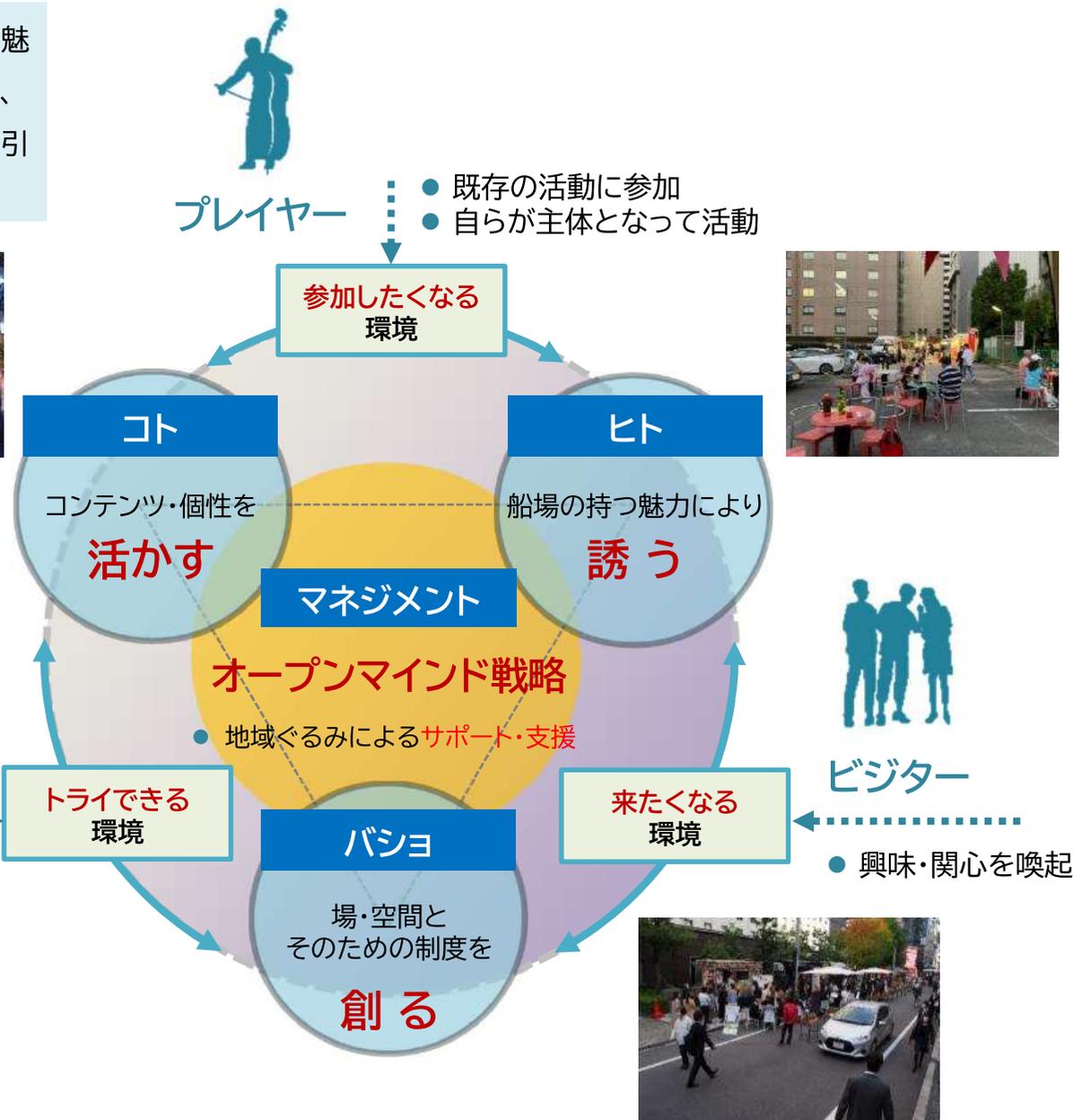
誰もが

- 事業者・起業
- プレイヤー
- ビジター

となる環境づくり。
多様なヒト・リソースを
引き寄せる




**事業者・起業
・プレイヤー**
● 「やってみたい」の
試行・拡大



3. オープンマインド戦略

バショ / ヒト / コト

コモンスペースから
オープンマインドコア “船場”を
はじめよう

グランドレベル・コモンスペース(バショ)に表出させることで、
船場のめざす姿「オープンマインドコア」が見える、
新たな出会い(ヒト)、イノベーション(コト)が
相乗的に生まれてくる

- 1 コモンスペースを「やってみたい」を受け入れる 実験の場に
- 2 豊かな生活・パブリックライフを楽しむことのできる場に
- 3 思いがけない 出会い・交流の場に

- 船場地区内には、公開空地や船場建築後退線など民地のオープンスペースが多数存在します。総合設計制度を活用した開発によって、北船場エリアを中心に公開空地が年々増加しているのが特徴的です。
- 一方で、圧倒的に公園が少ないことも船場地区の特徴です。
- 1階グランドレベルをまちのコモンスペース[共有空間]として開き、「やってみたい」を受け入れるリビングラボとなることで、豊かな生活・パブリックライフを楽しむことのできる場が形成されるとともに、コモンスペースでの出会いがイノベーションを創出することに期待が持たれます。



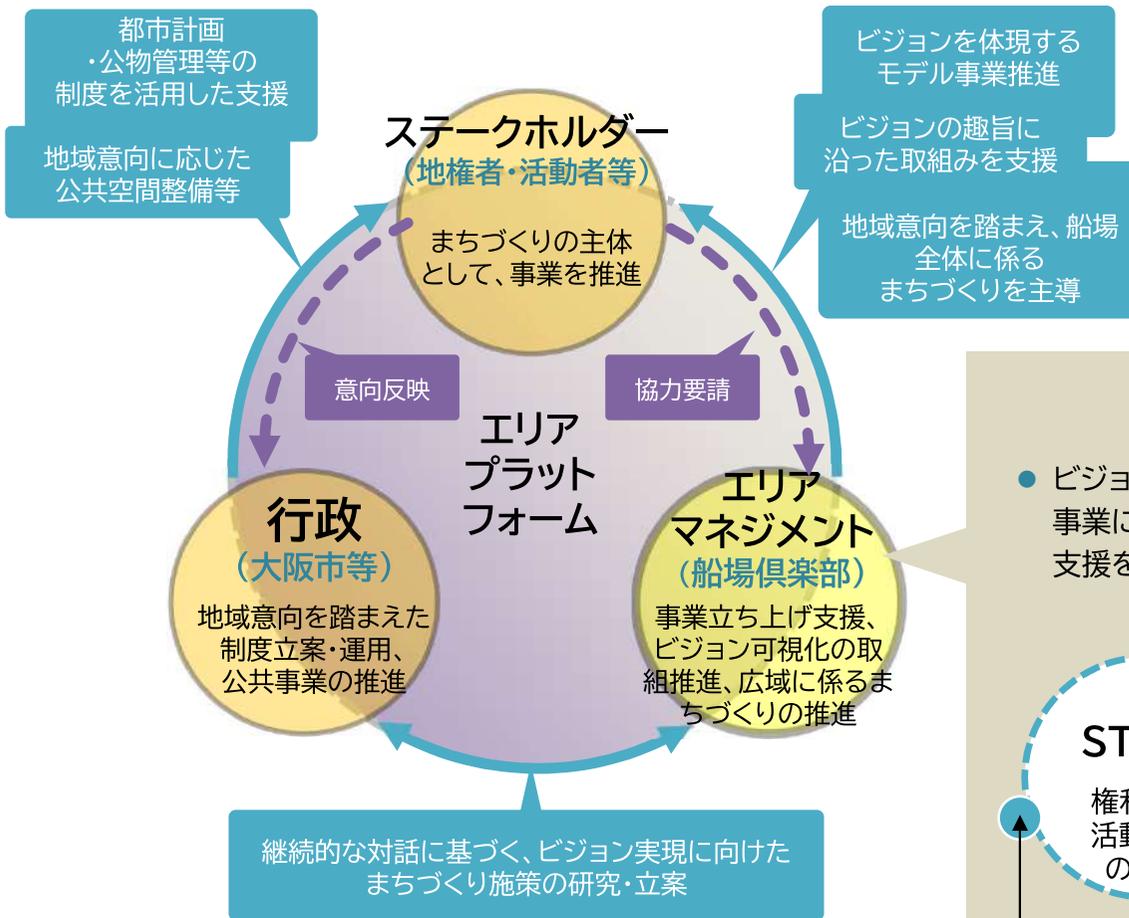
なぜコモンスペースに着目しているのか？



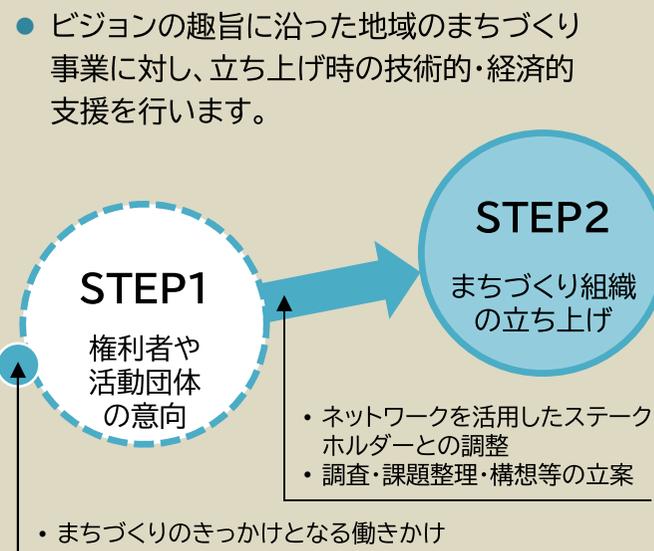
3. オープンマインド戦略 マネジメント

地域・船場倶楽部・行政のパートナーシップ

- アクションを実現するためには、地域・船場倶楽部・行政による適切な役割分担によるパートナーシップのもと推進していくことが求められます。
- その中枢を担うのがエリアマネジメントで、船場倶楽部が中心となり事業の立ち上げの支援をはじめ、ビジョン可視化の取組推進、広域に係るまちづくりの推進などに取組みます。



エリアマネジメントの役割 地域のまちづくり事業立ち上げ支援



4. まちの将来像

引き寄せられた人と人が偶然に出逢い、そしてアイデアを交換・発展・成長し合うイノベーションのまちへと発展
ひいては、都心共創地区として豊かな生活・パブリックライフを楽しむことのできる「船場」に。

コモンスペースを活用したイベント



歩きやすく、一休みできる通りに
開かれた飲食店は新しい出会いの場

コモンスペースで生まれる
思いがけない出会い・交流



オープンマインド、
地域ぐるみによるサポート・支援によって
多様なヒト・リソースを引きよせ
船場から新しい価値を創造

多世代・多様な人が楽しく
気軽に交流できる場



限られたオープンスペースの活用



子どもをテーマとした
活動を行う団体の緩やかな連携の場

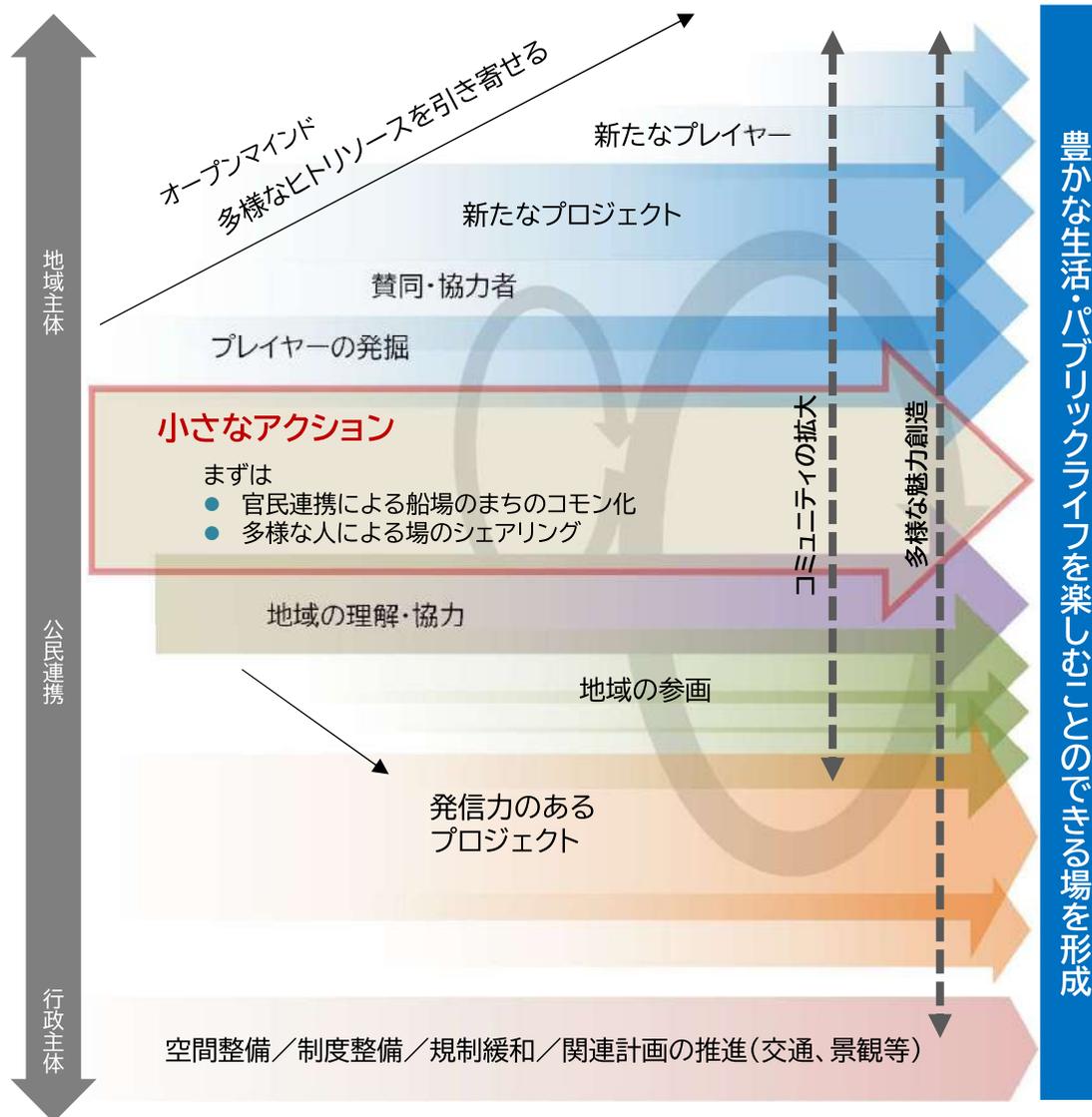
5. 具体化に向けた取り組み

持続的に創造していくために 小さなアクション できることをやってみる

- まずは、官民連携により、1階グラウンドレベルをまちのcommonspace[共有空間]として活用、多様な人によるスペースのシェアリング～「やってみたい」の試行・拡大を図ります。
- そして、多様なヒトリソースを引き寄せ、豊かな生活・パブリックライフを楽しむことのできる『船場スタイル』を形成するとともに、風格ある国際的な中枢都市機能集積地としての『都心・船場』づくりをめざします。

公民の役割分担	
民間主体	地域のまちづくり事業立ち上げ支援/ビジョン可視化の取組推進/船場全体に係るまちづくりの推進
公民連携	小さなアクション/公民連携による船場のまちのcommon化
公共主体	空間整備/制度整備/規制緩和/関連計画の推進(交通、景観等)

みんなで せんばパーク花火
(久宝公園)



ハードルの低い、小さなチャレンジから始めて成功体験を積み重ねる
小さなしかけの「地元」の繋がりから交流を重ねて横のつながりをつくっていく

6. モデルプロジェクトとチャレンジアクション

1. パブリックスペースですごす豊かな暮らし(道路空間・公開空地等の利活用)

- 道路空間・公開空地を活用した社会実験の積み重ねによる目指したいまちなみデザインの共有



まず実施すること	●道路空間の活用を図る社会実験の積み重ね ●2025大阪万博に合わせた展開
将来	●都心交通のあり方の検討、取りまとめ ●多様なモビリティのあるウォーカブルな公共空間 ●ガイドラインの活用・まちなみガイドラインを通じた事業者との対話 ●制度・規制緩和の推進・カーブサイドマネジメントに基づく運営／公開空地の再生制度／公開空地活用の推進と窓口組織

〔実践例〕

高麗橋ストリートパーク2021

シェアドスペース社会実験として2021年秋に実施した「高麗橋ストリートパーク2021」は、歩きたくなる居心地の良いまちなかのあり方を検証することを目的として、道路空間とともに、民地(船場後退部・公開空地)の1階グランドレベルをまちのCOMMONスペース[共有空間]として活用した取り組みです。車道北側を占有し創出した滞留空間とともに、民地と一体的な活用を行っています。



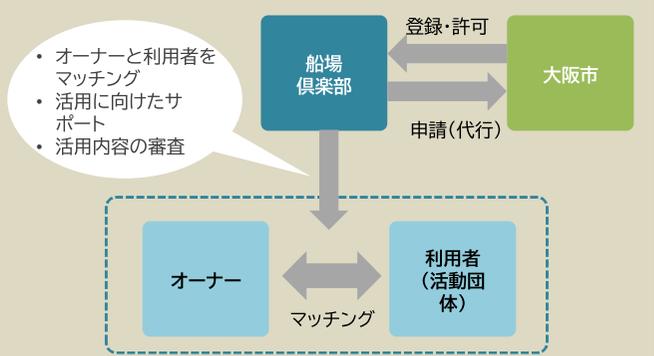
公開空地の利活用

船場地区には公園は数か所程度しかありませんが、総合設計制度に基づく公開空地が数多く立地しています。休憩施設の設置やキッチンカーの配車など、公開空地を住民、ワーカー、ビジターの憩いや交流の空間として活用する取り組みを行っています。



エリアマネジメントの役割 将来: 公開空地活用の推進と窓口組織

- 公開空地の活用を進めていくため、オーナーへの働きかけ、利用者とのマッチング等の促進事業を展開
- 大阪市の認定等を得て船場倶楽部が窓口組織となることで、多様な活動主体による公開空地の活用を実現



〔実践例〕

高麗橋オープンストリート2022

2022年秋に実施した「高麗橋オープンストリート2022」は、沿道利用以外の通過車両を規制し、コモンスペースとして道路空間と、民地(船場後退部・公開空地)の活用を行っています。歩きたくなる居心地の良いまちなかのあり方の検証とともに、民間主体によるコモンスペースのマネジメントの課題を把握することを目的として実施しています。



公開空地の滞留空間・ベンチ

総合設計制度による公開空地は、歩道状公開空地と広場状公開空地に分類されます。広場状公開空地については、大阪市の「総合設計制度による公開空地整備ガイドライン」では、ベンチなど利用者が快適に利用できるためのエレメントを配置することとされています。



次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の実証実験

まち歩きイベント「北船場茶論」の企画の一つとして、次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の実証実験が北船場で実施されました。歩行者を認識し回避する技術の検証と街を面白くするモビリティの可能性を確認することを目的としています。



6. モデルプロジェクトとチャレンジアクション

2. 久宝公園周辺の活用拡大

- 多様な活用ニーズの受け入れ、実績づくり



まず実施すること	●久宝公園周辺の活用拡大 ・花火等取組の継続・定着 ・多様な活用ニーズの受け入れ、実績づくり
将来	●久宝公園から点・線・面と周辺への波及⇒船場全体を歩きやすいまちへ

〔実践例〕

みんなでせんばパーク花火

船場地区には花火をする場所がないという住民の声を確認し、コモンスペースの創出、地域コミュニティの活性化を図るため、地域組織や行政との官民連携により久宝公園および隣接する駐車場において「みんなで せんばパーク花火」を開催しました。



ワンメーターズプロジェクト in 久宝公園

船場2030提案コンペ入賞者(有志)からなる”チームcobon”が中心となって、久宝公園を実験の場としたトライアルで、公園にソーシャル・ディスタンスを可視化するための仕掛け(1m×1mのグリッド)を設置しました。



「ワンメーターズプロジェクト」が誕生した「やってみたい」を発掘する提案コンペ「船場2030～ワクワクする船場のこれから～」

新しい大阪の都心像に向けて、魅力的なプロジェクトがもっとフツフツと生まれ続ける「ワクワクする船場」であって欲しいと願い、概ね10年先の2030年を想定した「ワクワクする船場」のイメージを募集する「船場2030～ワクワクする船場のこれから～」提案コンペを実施しています。



6. モデルプロジェクトとチャレンジアクション

3. 元 芦池小学校・南高校の南船場2つの学校用地を中心とした コモンスペースの活用チャレンジ

- チャレンジを通じた南船場地域におけるプレイヤーの発掘、機運醸成



まず実施すること	●2つの学校用地を中心としたパブリックスペースの活用チャレンジ ・スポーツ、地元飲食店から
将来	●学校グラウンド、道路、公開空地等を活用し南船場全体を繋ぐ⇒船場全体を繋ぐ

4. 堺筋の魅力化チャレンジ

- 堺筋の沿道企業等を中心に堺筋のあり方等を検討



5. 船場まちなみガイドラインを通じた事業者との対話

- 公開空地や道路空間の利活用、活動があり その利活用を実現する空間のあり方を示すガイドラインの策定、周知を行い、関連する建築行為等のデザイン・レビュー(事業者との対話)に取り組む



〔ガイドライン検討の視点〕

- ① 公開空地や道路空間の利活用、活動があり
- ② その利活用を実現する空間のあり方を検討

船場のまちなみ
～船場まちなみガイドライン～

※ 船場まちなみガイドラインは、2024年3月に策定予定

1. 利活用

公開空地 利活用のトライアル
(コモンスペースのモデル)

- 高麗橋オープンストリート2022
- 公開空地利活用の推進(ビル所有者、管理者への理解推進)



2. 空間

トライアルを通じた空間のあり方

- 求められる公共空間・民地の利活用イメージ
- 地区内で共有する空間のあり方を示すガイドラインの策定

船場フォーラムでのご意見

オープンマインドコア “船場” を実現する取組み

取組み①

南船場の限られたオープンスペースの活用

現状・課題等

- 芦池小学校跡餅つき大会は現在も南幼稚園と一緒に実施
- 防災訓練
- 安堂寺まつり

取組みアイデア

- 芦池小跡・南高校グラウンドの活用
 - ・ 総合型地域スポーツクラブ、エッセサ等地域密着型スポーツとの連携
 - ・ 地域対抗運動会
 - ・ 地域の飲食店が出店する屋台
 - ・ ジャズコンサート
 - ・ ラジオ体操
- 2つのグラウンドを繋ぐ道路空間での賑わい形成



取組み②

久宝公園の活用と公園周辺のまちづくり

現状・課題等

- 路上・公園での喫煙→エリアで分けて禁煙にできないか
- 放置自転車→通勤の自転車もある。周辺企業への啓蒙
- 心斎橋筋商店街(北側)人の営みを感じられる

取組みアイデア

- 久宝公園の活用
 - ・ 花火など現在実施しているイベントを下地に活用拡大
 - ・ 簡単な昔遊び等でコミュニティを拡げる
 - ・ 子どもを中心に久宝公園をみんなに知ってもらう機会創出
- 三休橋筋の整備
 - ・ 三休橋筋のガス灯南伸
 - ・ 歩きやすい、歩いて楽しい北側の良さを南に延ばす
 - ・ LEDなど手軽なデザインも
 - ・ 北側と同じではなく中船場らしい雰囲気づくり
 - ・ 灯りがあることで人が集まる居場所になる
- 南久宝寺町通
 - ・ アーケード撤去後の発展



船場フォーラムでのご意見

オープンマインドコア “船場”を実現する取組み

取組み③

船場のリ・ブランディング

現状・課題等

- 近代建築を含めた戦後建築のブランディング
- 大人が楽しめる魅力のあるまち
- 音楽で賑わう大人のまち
- 芯のある街
- 文化の街
- 夜店の復活



まず実施すること

- 船場の資源・コンテンツの再整理
- 船場検定、謎解き(こどもに伝える)、ガイド養成講座

取組み④

次世代にささるアプローチ

現状・課題等

- まちを支える次世代人材がいない
- 子どもを一人で歩かせられない、遊び場、習い事のない
- エリアによって人の密度に差がある
- タワーマンション内のコミュニティ希薄

取組みアイデア

- 船場の歴史文化の魅力を伝える
 - ・ 目を惹く、目立つ発信→現代アート等による関心惹きつけ
 - ・ Youtuber等インフルエンサーによる発信
- 船場ならではの学び—商い・ビジネスを身近に
 - ・ 子どもの商い体験イベント
 - ・ 子どもによる社長訪問、お店体験
 - ・ まちの課題解決を学生の研究テーマとして使ってもらう
- まちなかの日常的な活用
 - ・ 小さな子どもから年配まで自然と出会える場づくり
 - ・ まちなかドッチボール、こたつ麻雀
 - ・ プロジェクションマッピング
 - ・ 外国人向けまち歩きツアー
 - ・ 子どもが設え、運営に参加、ゆるい禁止ルールだけ決め継続しやすいしくみ

まず実施すること

- 多世代・多様な人が楽しく気軽に交流できる場づくり
- ・ 各地域持ち回りによるサロン開催
- ・ 地域内だけでなく外部との交流出会いの場

将来

- 船場内の交流・コミュニケーション活性化⇒新しいチャレンジ、次世代に向けたアプローチ



歴史・文化の振り返りだけでなく、それらを未来に繋ぐ

夜店等、昔あったものを現代的にもう一度つくり上げることも

最初は仲間内でも、風景をつくることで新しく吸い寄せられる人が増えコミュニケーションが生まれる



「船場でやっている」という発信力をつける

船場フォーラムでのご意見

オープンマインドコア “船場”を実現する取組み

取組み⑤

「やりたい」を応援するしくみ

現状・課題等

- ボランティアベースの活動の継続困難
- 人を集める、告知する方法がわからない
- ニーズに応えるしくみが必要
- 情報発信の悩み一人手が足りない、学校・地域と繋がりが無い

取組みアイデア

- **プラットフォームの必要性**
 - ・ 個々の取組を取り立て、周知
 - ・ テーマを絞ったプラットフォーム(子どもなど)
- **企業への周知**
 - ・ CSRへの訴求
 - ・ 課題を明確に
- **子どもにテーマを絞ったアプローチ**
 - ・ 子どもをテーマに活動する団体の洗い出し
 - ・ 定期的に子ども対象の機会づくり
 - ・ 親世代へのアプローチ



まず実施すること

- 子どもをテーマとした活動を行う団体の緩やかな連携の場づくり
- 子育て層向けプロジェクトの実施



取組み⑥

パブリックスペースですごく豊かな暮らし

現状・課題等

- 活用にあたってのルール、管理
- お金を生むシステム

取組みアイデア

- **イベントができる場づくり**
 - ・ 公開空地、船場後退線
 - ・ 子どもが遊べる場づくり
 - ・ キッチンカー
 - ・ 社会実験の積み重ね
 - ・ 大阪万博に合わせたカーニバル開催



● 緑

- ・ 車止めとして鉢を置く、年3回花いっぱい運動実施
- ・ 橋洗い活動
- ・ 緑のコンテストでお金を集める
- ・ 和棉を育てる
- ・ 季節ごとに各街区で花を植える
- ・ オーナーを巻き込む
- ・ 会員や企業または、来訪者によるグリーン寄付

まず実施すること

- 道路空間の活用を図る社会実験の積み重ね
- ・ 2025大阪万博に合わせた展開

将来

- 都心交通のあり方の検討、取りまとめ
- ・ 多様なモビリティのあるウォークブルな公共空間



船場の魅力を高め、発信するプロジェクト

〔公民連携〕

観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業

- まちなみの再生・活性化や、新たなまちなみの個性を引き出すために、無電柱化や周辺景観と調和した道路整備などに取り組むことによって、新しい集客拠点化を図る事業です。



整備前



整備後

〔公民連携〕 近代建築のライトアップ

- 船場のまちの歴史と文化を伝える近代建築にはライトアップが施され、陰影により美しい構造を再発見することができます。



〔公民連携〕 まちの案内板

- 「船場」の知名度向上や新たな観光ルートの創出(回遊性の向上)を図るため、地上機器の上に観光案内板を設置しています。
- 案内板の設置は大阪市で行っていますが、盤面デザインの検討や日常的な維持管理については、地元組織である『船場倶楽部』が行っています。



〔民間主体〕 船場アートサイトプロジェクト

- 船場アートサイトプロジェクトは、2025年の日本国際博覧会(大阪・関西万博)開催を機として、大阪がドラスティックな変化の時を迎えている中、大阪の中心である船場地区をアートでデザインし、国内外に向け一大アートサイトとしてリブランディングを試みます。



船場データ

1. 船場の位置



船場の北中南

北船場

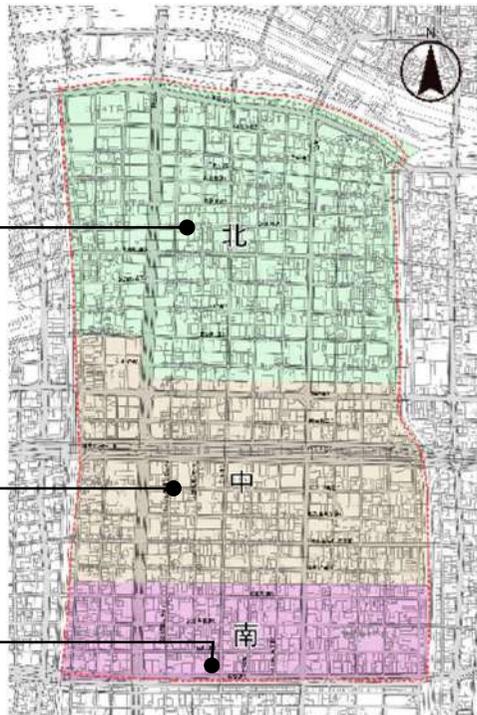
北浜・今橋・高麗橋
伏見町・道修町
平野町・淡路町・瓦町
備後町・安土町

中船場

本町・南本町・船場中央
久太郎町・北久宝寺町
南久宝寺町・博労町

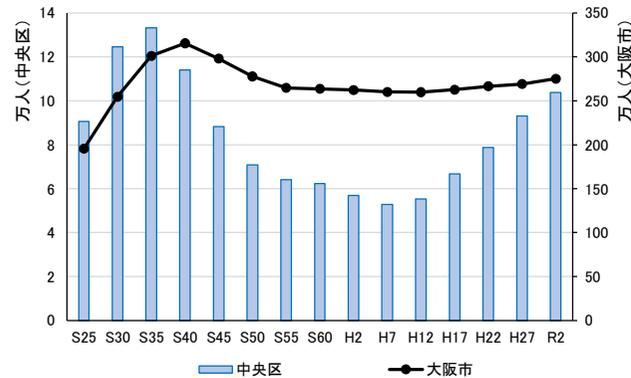
南船場

南船場

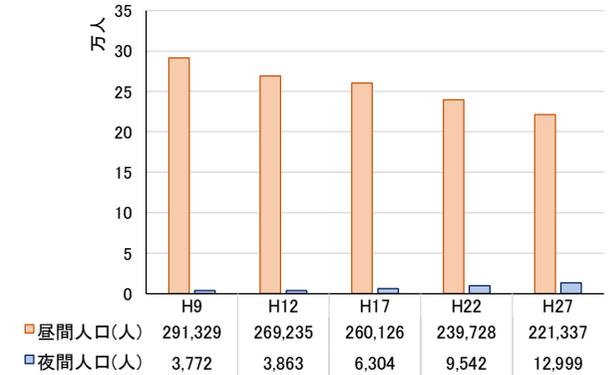


2. 人口

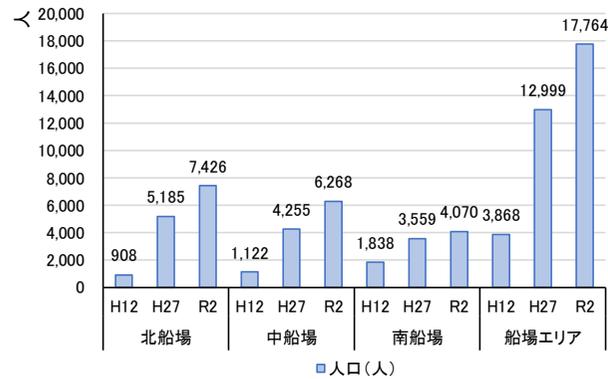
中央区全体人口のトレンド



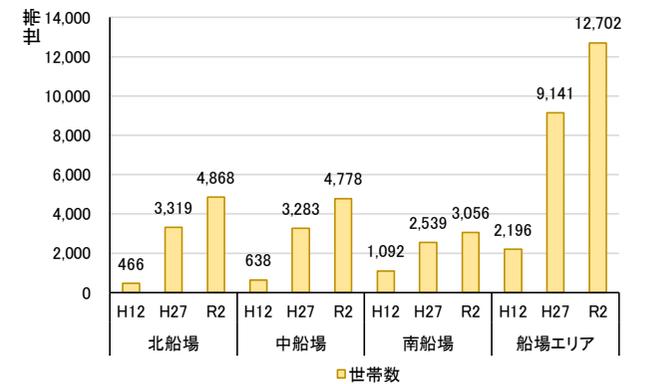
船場内の昼間人口・夜間人口



船場エリアの人口推移



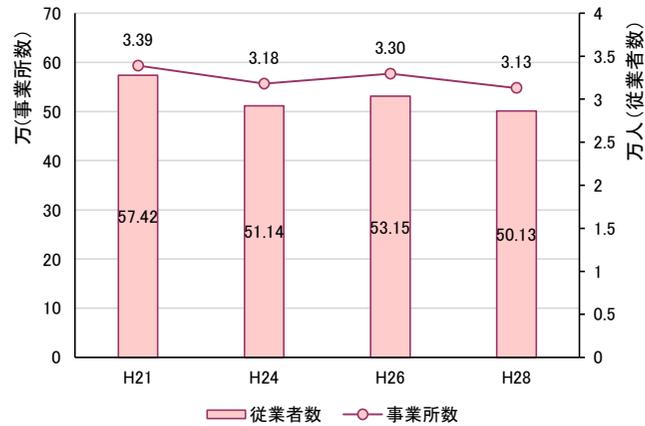
船場エリアの世帯数推移



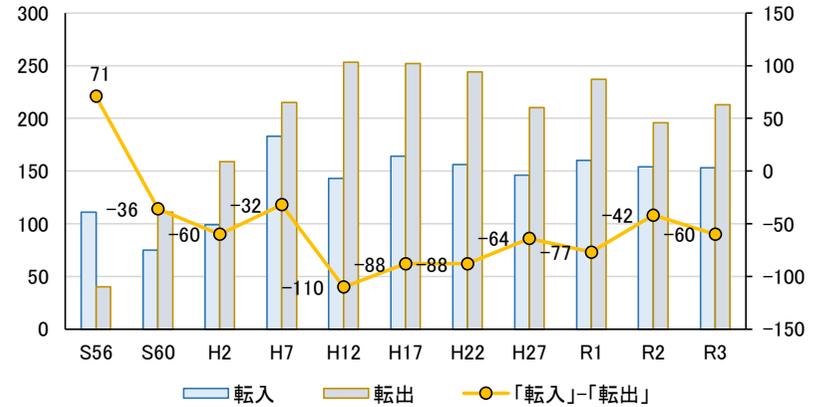
船場データ

3. 商業・業務

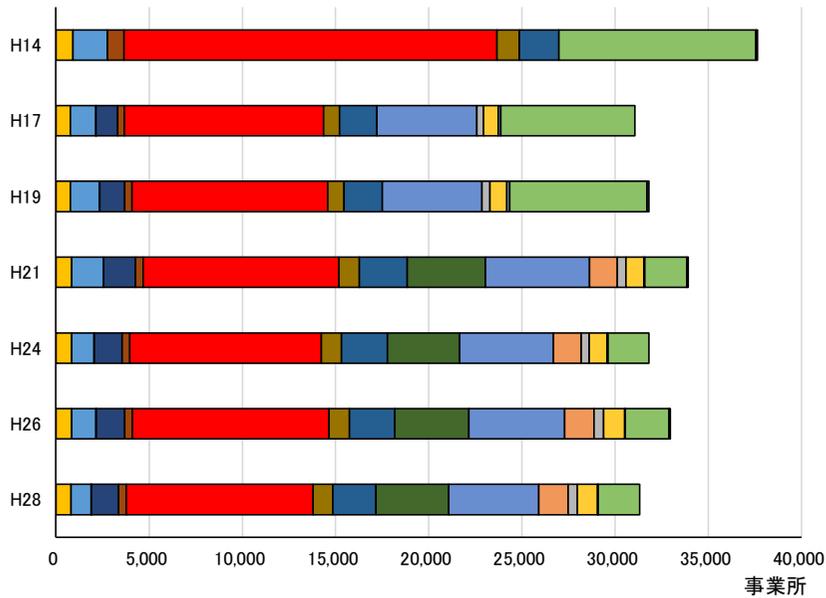
事業所数と従業員数(中央区)



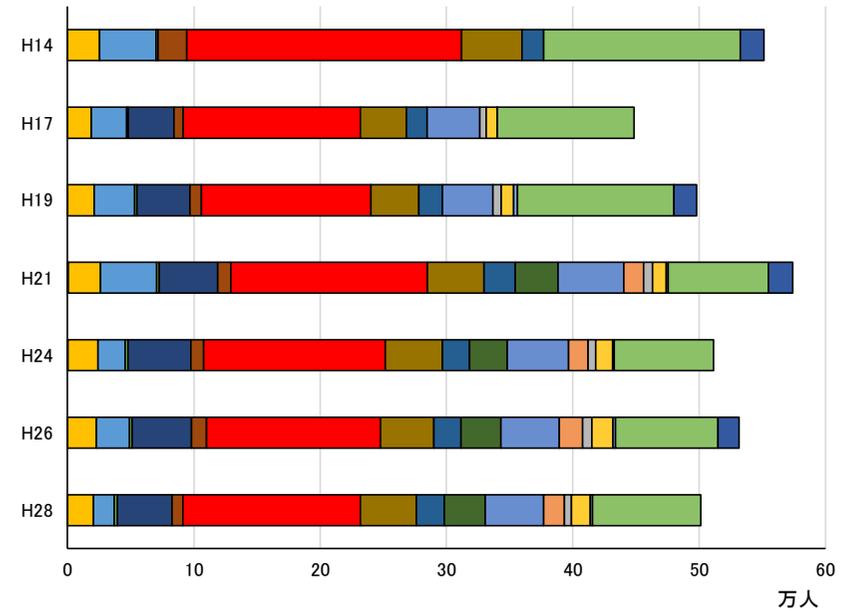
本社移転企業調査(大阪府)



事業所数の推移(中央区)

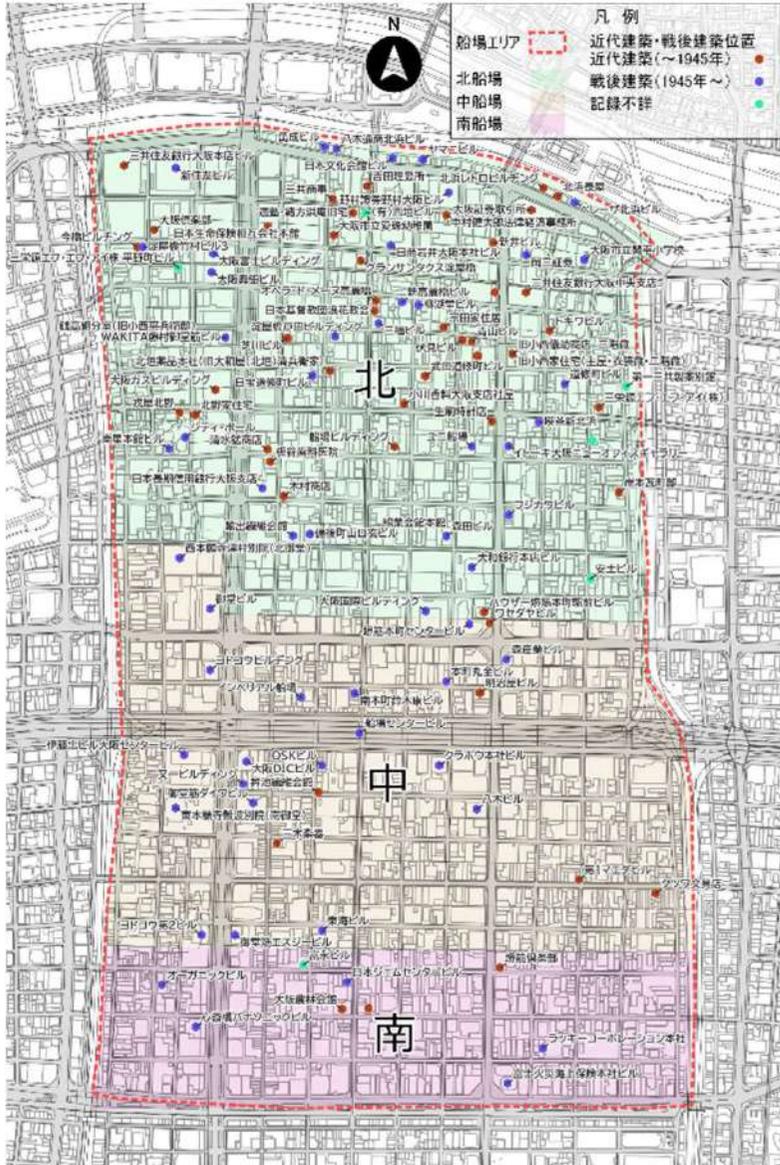


従業員数の推移(中央区)



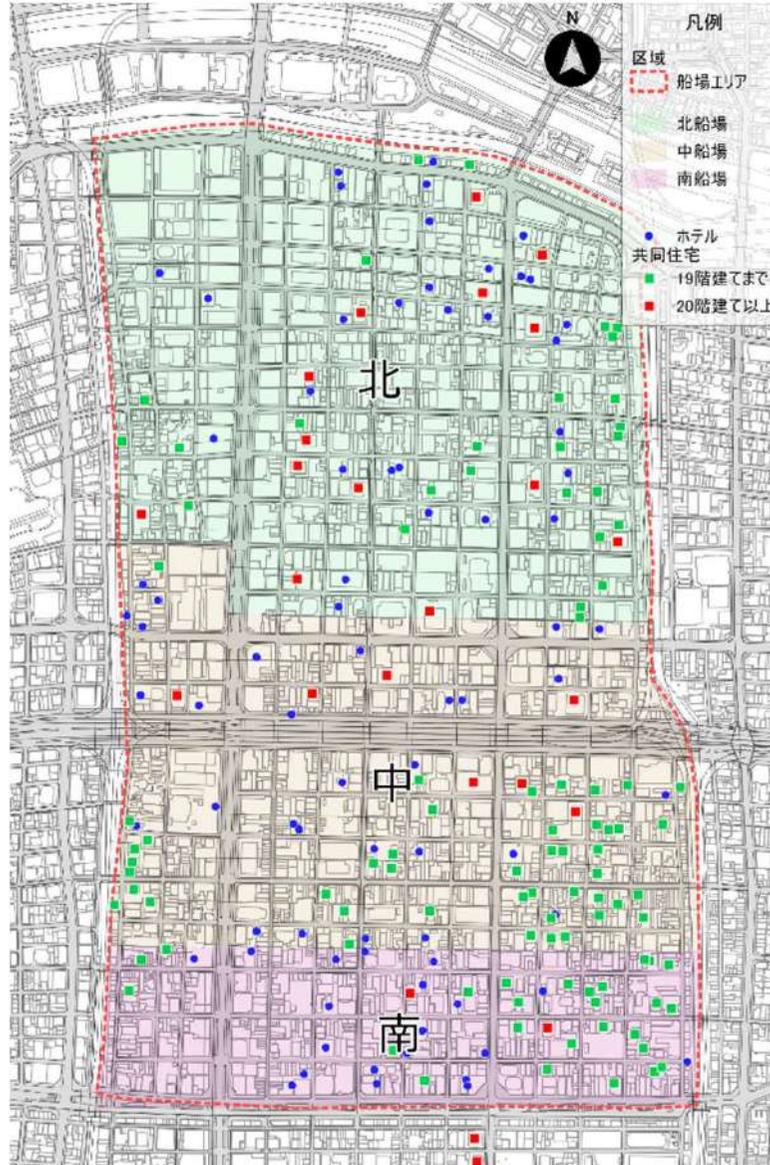
船場データ

4.近代建築・戦後建築



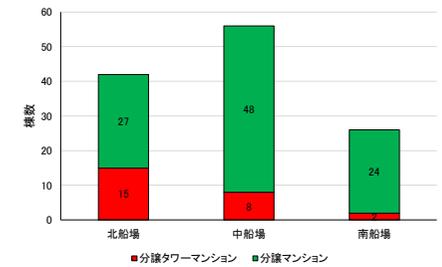
出典:生きた建築フェスティバルHP、文化財データベース、個人HP

5.船場内の施設・資源



出典:船場倶楽部提供データおよび検索による(2023年2月時点)

船場内の分譲共同住宅軒数



共同住宅軒数 (10階以上)	北船場	中船場	南船場
分譲タワーマンション (20階以上)	15	8	2
分譲マンション (20階以下)	27	48	24

船場内のホテル軒数

船場地区ホテル軒数	北船場	中船場	南船場
ホテル軒数	30	29	20

船場データ

6.公開空地



出典:建築基準行政年報、現地調査により作成

No.	建物名称	エリア	竣工年数
1	北浜プラザ	高麗橋1	2009
2	北浜MIDビル	道修町1	2008
3	ニッセイ淀屋橋イースト	今橋3	2009
4	淀屋橋フレックスタワー	高麗橋3	2006
5	リーガルタワー大阪	淡路町3	2008
6	Daiwa北浜ビル	淡路町2	2008
7	7パヴィアH・アップル川-淀屋橋	高麗橋3	2008
8	淀屋橋山本ビル	今橋4	2005
9	JA大阪センタービル	高麗橋3	2004
10	イトピア北浜	今橋1	2005
11	シティタワー大阪	瓦町1	2003
12	小野薬品工業株式会社社屋	久太郎町1	2003
13	銀泉備後町ビル	瓦町3	2003
14	大阪ガス御堂筋東ビル	道修町3	2003
15	京阪神不動産淀屋橋ビル	今橋4	2001
16	淀屋橋NAOビル	今橋4	1999
17	JTBビル	久太郎町2	2002
18	明治安田生命大阪御堂筋ビル	伏見町4	2001
19	大成建設関西支店ビル	南船場1	-
20	三井住友カード大阪本社	今橋4	1999
21	大阪産業創造館	本町1	2000
22	朝日生命辰野ビル	安土町1	1998
23	淀屋橋センタービル	高麗橋3	1998
24	淀屋橋ダイビル	高麗橋4	1997
25	船場ダイヤモンドビル	久太郎町2	1995
26	丸善修道町ビル	道修町2	1995
27	サンマリオンNBFタワー	南本町2	1996
28	NTPR堺筋本町ビル	久太郎町1	1993
29	南船場ハートビル	南船場2	1994
30	山口興産堺筋ビル	久太郎町2	1994
31	瓦町三信ビル	瓦町2	1995
32	NTT OSAKA CHUO BLG	博労町2	-
33	平野町センチュリービル	平野町2	1978
34	御堂筋グランタワー	博労町3	1994
35	旭洋宮崎銀行ビル	瓦町3	1992
36	長谷工コーポレーション	平野町1	1994
37	高麗橋山本ビル	高麗橋3	1993
38	住宅金融支援機構・矢野ビル	南本町4	1994
39	本町山本ビル	南本町4	1994
40	商工中金船場ビル	南船場1	1993
41	大阪岡本ビル	南船場1	1990
42	堺筋本町ビル	南本町1	1992
43	UXアーバネックス淡路町ビル	淡路町4	1992
44	飛栄創建ビル	北久宝寺2	1991
45	三栄ムアビル	南船場3	1991
46	稲西住友ビル	本町1	1994
47	日本毛織本社ビル	瓦町3	1991
48	淀屋橋戸田ビル	伏見町3	1991
49	イワタニ第二ビル	安土町3	1990
50	EDGE淀屋橋ビル	今橋2	1989
51	小寺プラザ	北浜2	1990
52	MID今橋ビル	今橋2	1990
53	りそなグループ大阪本社ビル	備後町2	1991
54	HK今橋ビル	今橋4	1990
55	備後町山口玄ビル	備後町3	1989

No.	建物名称	エリア	竣工年数
56	豊田日生北浜ビル	高麗橋1	1988
57	ニッセイ南船場ビル	南船場2	1988
58	淀屋橋ウエストビル	高麗橋4	1989
59	田村駒本社社屋	安土町3	1990
60	SRビル長堀(富士火災海上保険)	南船場1	1989
61	オーセンティック東船場	北久宝寺1	1988
62	山陽染工瓦町ビル	瓦町2	1988
63	DAIWA南船場ビル	南船場4	1997
64	クラボウ本社ビル	久太郎町2	1988
65	淡路町ダイビル	淡路町3	1986
66	ニューライフ御堂筋本町	南久宝寺4	1986
67	ニッセイ心斎橋ウエスト	南船場4	1986
68	サンビル備後町	備後町3	1986
69	銀泉横堀ビル	高麗橋4	1986
70	日本生命今橋ビル	今橋3	1986
71	ニューライフ船場	北久宝寺2	1985
72	三井ガーデンH大阪淀屋橋	高麗橋2	1984
73	野村不動産大阪ビル	安土町1	1983
74	メットライフ本町スクエア	本町2	1984
75	住化不動産横堀ビル	高麗橋4	1981
76	アーク北浜	今橋1	1981
77	日経今橋ビル	今橋1	1980
78	北浜中央ビル	北浜2	1977
80	トレードピア淀屋橋	今橋2	1975
81	あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル	平野町3	2005
82	ORIX高麗橋ビル	高麗橋3	2004
83	KDX小林道修町ビル	道修町4	2009
84	エスリードビル本町	本町1	2009
85	MPR本町ビル	南久宝寺3	2009
86	本町南ガーデンシティ	北久宝寺3	2011
87	淀屋橋スクエア	北浜2	2009
88	プランズタワー備後町	備後町1	2014
89	淀屋橋ミッドキューブ	北浜4	2014
90	HK淀屋橋ガーデンアベニュー	伏見町4	2015
91	クラッシィタワー南船場	南船場1	2015
92	田辺三菱製薬本社	道修町3	2015
93	アルカジゴ 101 堺筋本町タワー	久太郎町1	2018
94	クレヴィアタワー大阪本町	瓦町3	2019
95	オービック御堂筋ビル	平野町4	2020
96	MJR堺筋本町タワー	南本町1	2021
97	ローレルタワー御堂筋本町	瓦町4	2021
98	大阪グランベルホテル	北久宝寺2	2021
99	北浜ミッドタワー	北浜2	2018
101	塩野義製薬本社ビル	道修町3	1993
102	SYNTHビジネスセンター北浜	平野町2	1993
103	御堂筋MTRビル	淡路町3	1999
104	クラッシィタワー淀屋橋	淡路町3	2015
105	堺筋本町センタービル	本町2	1991
106	本町サンケイビル	本町4	2021

船場未来ビジョンについて

- 船場未来ビジョン「オープンマインドコア“船場”」は、官民連携まちなか再生推進事業を活用して、令和3年1月に行政と地元まちづくり団体及び各分野を専門とする学識経験者等で構成した船場まちづくり検討会を開催し、検討会での議論や社会実験、地元地域へのヒアリングなどを通じて策定しています。

【船場まちづくり検討会委員】

民間	船場倶楽部、独立行政法人都市再生機構 西日本支社、大阪商工会議所
行政	大阪市（都市計画局地域開発担当、経済戦略局観光施策担当、建設局道路課及び道路空間再編担当、都市整備局まちなみ環境担当、中央区役所まち魅力推進担当）
専門人材等	大阪府立大学研究推進機構 橋爪特別教授（座長）、近畿大学建築学部建築学科 高岡准教授、京都大学大学院 工学研究科 山口准教授 大阪府立大学生命環境科学研究科 武田准教授、公益財団法人大阪産業局 クリエイティブ産業推進部部長 兼 メビック堂野所長

【船場まちづくり検討会の開催経過】

令和4年度	第1回	令和3年 6月24日（木）
	第2回	令和3年 9月 9日（木）
	第3回	令和3年12月 8日（水）写真下左
	第4回	令和4年 3月15日（火）
令和5年度	第1回	令和4年10月23日（日） ※船場フォーラム2022と同時開催 写真下右
	第2回	令和5年 1月27日（金）
	第3回	令和5年 3月24日（金）



船場まちづくり検討会について

- 船場まちづくり検討会は、船場地域において官民が連携して、「居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成」を目標に、まちの将来像を共有し、にぎわい・魅力創出に向け、公共空間及び民間敷地の利活用、ウォーカブルな街路空間の再編の実現に向けた検討を行うことを目的として創設しました。

船 場 未 来 ビ ジ ョ ン

オープンマインドコア“船場”

船場まちづくり検討会

（事務局：船場倶楽部）

令和5年3月